

「飢えに苦しみ、空襲におびえた日々」

白澤イト

戦争体験談という事で計らずも受けてしまいました。この^{とし}齡にしてうまく書ける筈も御座いません。ただ、正直な心で本当の事を書き残せたらと思っております。

私は結婚して下目黒に住んでおりました。家族3人です。しばらくして時々空襲警報が鳴るようになりました。その日も空襲警報のサイレンが鳴り、爆撃機護衛の戦闘機が低空で頭上すれすれに急降下してきました。片羽の一部しか見えなかったのも機種はわかりません。勿論敵機でした。余りの急なことで、子どもをおんぶして常に逃げる準備をしていたのですが、オムツとミルクだけを持ち、家の防空壕に入りました。でも、1人では心細く、近くの大きな防空壕に走って行きました。3、40人位の方たちが入っておられましたが、「助けてください！」とお願いして入れてもらいました。誰一人声を出す人もなく静まり返っております。間もなく上空を飛行機が通ったかと思ったとたんにズンズン、ズンズン、と体をゆさぶられる爆発音、また、ズンズン、ズンズン、永遠に続くかと思われま

した。実際は4、50分続いたかと思いますが、長い死の恐怖^{きょうふ}にさらされました。

やがて静かになり、外に出てみると大崎、五反田^{ごたんだ}方面が火の海のように赤く見えました。立っていた場所からは4、5キロの場所、多くの方が亡くなったかと思うと、自分と子どもは生きてここに立っているのにと、悲しい思いでいっぱいでした。やがて周りの人たちの顔にも安堵^{あんど}の色が見え始め、それぞれの家に帰っていかれました。私は、主人の働いている会社の近くではないかととても不安になりましたが、しばらくして主人も帰り、話によりますと軍事工場がやられているということでした。

東京の空爆も日増しに激しさを増し、主人の会社も一部岐阜^{ぎふ}の中津川^{なかつがわ}に疎開^{そかい}し私達^{いっしょ}も一緒に行くことになりました。中津川は周りを高い山に囲まれその中に町がありました。空襲^{くうしゅう}の心配がない代わりに食糧^{しょくりょう}がないのです。2週間に1升位^{しょう}の米の配給では生きていかれません。捨ててあったきつまの苗^{なえ}を取った後の種いもまで食糧^{しょくりょう}になりました。畦道^{あぜみち}に生えている野草はもちろん、兎^{うさぎ}の食べる草はほとんど食糧^{しょくりょう}になったのです。配給のお酒をお米と交換^{こうかん}するのもやっと出来る状態でした。やがて子どもが栄養失調になってしまい、

いた
致し方なく栃木の実家に命からがら帰ってきました。帰った直後は
栃木はまだ平穩^{へいおん}でしたが、しばらくして敵の計画的な空襲^{くうしゅう}が始まり
ました。毎日毎日数十機の大編隊が上空を飛ぶのです。その大編隊
を護衛する小型機がもし地上の人間を見つけたら一目散に急降下し
て私達を攻撃^{こうげき}してくるのです。とっさに水のない堀等^{ほり}に飛込み、子
どもを守りしばしの難を逃れました。もう、うっかり外にも出られ
ません。空襲^{くうしゅう}の目標は太田の飛行場だったようです。

その頃の日本には若い男性はおりません。

私と同級の男性は90%が海外に出たまま帰って来られませんで
した。小さい頃共に遊んだ仲間でした。

女性ばかりで日本の国を守っていかなければなりません。真剣^{しんけん}で
した。第一食べるものがないのです。お米の上米は全部供出してし
まい、残りのくず米だけを食べ細々と生きていきました。その頃、
外地の兵隊さんから手紙が届きました。食糧^{しょくりょう}がなく木の皮をはい
で食べているとの文面にみんなみんな涙^{なみだ}を流しました。これでは戦
争に勝てるどころか、自分の生命も守りきれなかったと思います。
実際、ある島では戦死者よりも餓死者^{がし}の方が多かったと、戦後にな
って聞きました。なぜ、日本が先に真珠湾攻撃^{しんじゅわんこうげき}をしてしまったのか、

小さな日本が大国との戦争に巻き込まれてしまったのか、私にはわかりません。政治・外交の失敗だったのか、不幸な結果を反省しなければならぬと思います。

こちらは余談になりますが、その後30年程して旅行社の案内でバリ島に行ったことがありました。その時現地の方々から耳にした話を忘れることが出来ません。遠く日本を離れた兵隊さんたちが故国に帰ることも出来ずに思い余ってのことでしょうが、千丈もある深い海に「お母さーん」という悲しい声を残して次々に飛び込んで行ったそうです。実話だけに聞き捨てならない思いで涙しました。現実に日本兵の乗っていた戦車もあちこちに残っていました。現在の私達の幸せもこうした過去の悲しい犠牲の上にあるのだと感謝しきれぬ思いと共に、民間人、軍人を問わず、亡くなられた方々のご冥福をお祈りしたいと思います。現在日本の平和の素晴らしさ、住み良さは世界一だと思っています。多くの犠牲を払って得た平和がいつまでも続きますよう心からお祈りして筆を置かせていただきます。